

# 事業評価シート

番号 1840050 \_ 001

## 【1.基本情報】

事業名	加納栄町通り3丁目加納東丸町1丁目線				
担当部名	基盤整備部	担当課名	道路維持課		
総合計画政策	安心な暮らしにつながる防犯や交通安全などの充実		政策コード	5 - 2 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成27年度～	令和3年度	根拠法令 関連計画※	高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律	

## 【2.事業概要】

事業の目的	車道と歩道を分離することで、高齢者、障がい者及び児童生徒をはじめとする歩行者に対する安全で快適な歩行空間を創出する。	
事業の内容	安全で快適な歩行空間を確保するために、バリアフリーに対応した歩道整備を行う。	
事業の対象	何を	安全で快適な歩行空間を確保するための歩道の改良
	誰に (対象者・対象者数)	道路利用者(高齢者、障がい者、児童生徒をはじめとする歩行者)
	どのくらい (具体的 数値で)	道路整備延長 L=520m, 道路幅員 W=20.0m (両側歩道 W=3.5m, 車道 W=13.0m) (排水工、舗装工、区画線工、安全施設工)
平成30年度 (実施内容)	工事 L=117m (排水工、舗装工、区画線工、安全施設工)	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,835	130	3,952	130	4,121	130
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	3,835	130	3,952	130	4,121	130

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		24,598	32,894	17,600
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	工事	24,598	32,894	17,600
	委託			
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		24,598	32,894	17,600

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	28,433	36,846	21,721

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金	11,143	17,820	8,700
県支出金			
市債	8,200	13,100	7,800
使用料・手数料			
その他			
計(F)	19,343	30,920	16,500

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	9,090	5,926	5,221

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	道路利用者	道路利用者	道路利用者
受益者数			
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	道路整備延長		単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	90	90	120
実績値	85	115	112

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	歩道のバリアフリー化率		単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	26.9	44.2	67.3
実績値	16.3	38.5	55.4

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	高齢者や子どもをはじめとする道路利用者(歩行者)に対する、安全で快適な道路整備である。  岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	不特定多数が利用する安全安心な道路整備であり、歩行者の安全で快適な利用に有効な事業である。  公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	歩道のバリアフリー化により、安全で快適な歩行空間を確保することができる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	幹線道路である都市計画道路の整備であり、高齢者や通学児童・生徒を中心とした多数の利用者の利益に資する。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	歩道改良によるバリアフリー化の実施により、高齢者、障がい者をはじめとする歩行者に対する安全で快適な歩行空間が創出されており、引き続き事業を実施していく必要がある。

# 事業評価シート

番号 1840050 - 002

## 【1.基本情報】

事業名	交通安全施設整備				
担当部署	基盤整備部	担当課名	道路維持課		
総合計画政策	安心な暮らしにつながる防犯や交通安全などの充実		政策コード	5 - 2 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成30年度～	年度	根拠法令 関連計画※	道路交通法・高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律	

## 【2.事業概要】

事業の目的	道路の安全性を向上させ、交通事故発生を抑制を図る。				
事業の内容	市民が安全で安心して道路を利用できるよう、交通安全施設である道路反射鏡、防護柵、区画線、案内標識などの設置及びバリアフリーに適合した安全で快適な歩行環境の実現のための歩道改良を行う。				
事業の対象	何を	交通安全対策として、道路反射鏡など交通安全施設の設置及び歩道の改良の実施			
	誰に (対象者・対象者数)	道路利用者			
	どのくらい (具体的 数値で)	交通安全対策が必要な道路			
平成30年度 (実施内容)	歩道改良(光萱場東線ほか1路線 L=42m、梅園町島田西町線ほか2路線 L=140m)、道路反射鏡(新設)N=154基、防護柵(新設・改良)L=2,640.2m ほか				

## 【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	11,210	380	10,549	347	11,000	347
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>11,210</b>	<b>380</b>	<b>10,549</b>	<b>347</b>	<b>11,000</b>	<b>347</b>

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		137,289	147,825	134,642
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	工事	137,289	147,825	134,642
	委託			
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>137,289</b>	<b>147,825</b>	<b>134,642</b>

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	148,499	158,374	145,642

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	74,907	68,280	59,847
<b>計(F)</b>	<b>74,907</b>	<b>68,280</b>	<b>59,847</b>

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	73,592	90,094	85,795

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	道路利用者	道路利用者	道路利用者
受益者数			
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	歩道改良整備延長		単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	120	130	180
実績値	126	125	182

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	事故死傷者数の減少		単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	2,000	2,000	2,000
実績値	2,245	1,788	1,516

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	地元からの危険箇所の対策要望や一事故一対策に対応した事業であり、交通事故防止に寄与している。  岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	道路の安全性を高め、交通事故防止に寄与するものである。  公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	交通安全施設を設置することにより、交通事故発生の抑制が図れる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	道路利用者全体の利益に資するものである。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	交通安全対策として、道路反射鏡など交通安全施設の設置及び歩道改良の実施をすることにより、道路の安全性が向上し、事故件数が抑制されているため、引き続き事業を実施していく必要がある。

# 事業評価シート

番号 1840050 - 003

## 【1.基本情報】

事業名	道路舗装整備				
担当部名	基盤整備部	担当課名	道路維持課		
未来地図政策	持続可能な都市基盤づくりの推進		政策コード	6 - 2 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成30年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

## 【2.事業概要】

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境の向上</li> <li>市内交通の安全性・利便性の向上</li> <li>適切な維持管理による道路管理瑕疵の抑制</li> </ul>	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道舗装の改良・更新</li> <li>未舗装市道の舗装整備</li> </ul>	
事業の対象	何を	道路舗装
	誰に (対象者・対象者数)	道路利用者及び地域住民
	どのくらい (具体的 数値で)	適切な維持管理及び未舗装路の整備
平成30年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>舗装延長 L=19,918m</li> <li>舗装面積 L=122,938㎡</li> </ul>	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	16,051	528	16,738	528	16,738	528
嘱託職員	1,346	132	1,360	132	2,719	264
アルバイト	0		0		0	
計(A)	17,398	660	18,097	660	19,457	792

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		903,849	895,450	885,283
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	工事	747,652	756,801	725,910
	委託	2,224	3,510	11,210
	修繕	153,973	135,139	148,163
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		903,849	895,450	885,283

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	921,247	913,547	904,740

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金	196,955	105,039	36,604
県支出金			
市債	144,900	228,200	552,300
使用料・手数料			
その他			
計(F)	341,855	333,239	588,904

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	579,392	580,308	315,836

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	道路利用者及び地域住民	道路利用者及び地域住民	道路利用者及び地域住民
受益者数			
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	舗装整備面積		単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			m <sup>2</sup>
実績値	184,081	130,728	122,938

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	市内交通の安全性・利便性の向上		単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			
実績値			

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	道路利用者や地域住民に対し、生活環境の向上、安全性・利便性の向上、道路管理瑕疵の抑制を図るには、道路舗装整備は欠かすことができない事業である。  岐阜市が所管する施設であるため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	舗装整備により、道路の安全性向上が図られているが、既設舗装の老朽化が進んでおり、今後は更新などの対策をより一層重点的に行う必要があることから、事業費の増加が見込まれる。  公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込みか) ※【2】【7】から	高	道路舗装の改良、新設によって、生活環境の向上、安全性・利便性の向上、道路管理瑕疵の抑制を図ることができた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	道路舗装は岐阜市全域で整備されているが、道路舗装の新設など受益者である道路利用者及び地域住民が限定的な場合がある。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	舗装の改良、新設により、生活環境の向上及び安全性・利便性の向上、道路管理瑕疵の抑制を図ることは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。

# 事業評価シート

番号 1840050 - 004

## 【1.基本情報】

事業名	蕪城町玉宮町線				
担当部名	基盤整備部	担当課名	道路維持課		
総合計画政策	市民の生命と財産を守る防災や消防の充実		政策コード	5 - 1 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成29年度～	令和4年度	根拠法令 関連計画※	電線共同溝の整備等に関する特別措置法等	

## 【2.事業概要】

事業の目的	「安全で快適な通行空間の確保」、「都市景観の向上」、「都市災害の防止」、「地域活性化」を図る。	
事業の内容	市道(蕪城町玉宮町線)の無電柱化整備及び修景整備	
事業の対象	何を	「安全、景観、防災」等に寄与する無電柱化整備及び道路修景整備
	誰に (対象者・対象者数)	道路利用者
	どのくらい (具体的 数値で)	道路整備延長 L=520m, 道路幅員 W=25.0m (両側歩道 W=6.0m, 車道 W=13.0m) (無電柱整備延長 L=1,000m)
平成30年度 (実施内容)	詳細設計(電線共同溝整備・道路整備)	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		2,979	98	4,121	130
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	0	0	2,979	98	4,121	130

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
				5,054
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	委託			5,054
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		0	0	5,054

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	0	2,979	9,175

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	0	2,979	9,175

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者			道路利用者
受益者数			
受益者負担額(千円)			0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	無電柱化道路の延長		単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			0
実績値			0

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	無電柱化率		単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			0
実績値			0

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	道路利用者に対して、安全で快適な通行空間の確保をはじめ、都市景観の向上及び都市災害の防止等を図る事業である。 岐阜市が所管する道路であるため、市が主として管路の設置や道路の舗装を行う必要があり、電線管理者が管路の通線や電柱の撤去を行っている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	幹線道路の無電柱化整備は、安全で快適な通行空間の確保のほか、大規模地震などの災害発生時に電柱の倒壊による輸送路の分断等を回避し、迅速な災害復旧に資する事業である。 道路管理者である岐阜市が主体となり、電線管理者と共に実施すべき事業である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	無電柱化整備によって、道路上の電柱や電線類がなくなることにより、都市景観の向上、安全で快適な通行空間の確保及び都市災害の防止等を図ることができる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	岐阜市の都心拠点における整備であり、多数の道路利用者の利益に資する。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	安全で快適な通行空間の確保及び都市景観の向上、都市災害の防止等を図るため、引き続き事業を実施していく必要がある。

# 事業評価シート

番号 1840050 \_ 005

## 【1.基本情報】

事業名	真砂町11丁目光明町3丁目線				
担当部名	基盤整備部	担当課名	道路維持課		
総合計画政策	市民の生命と財産を守る防災や消防の充実		政策コード	5 - 1 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成29年度～	令和4年度	根拠法令 関連計画※	電線共同溝の整備等に関する特別措置法等	

## 【2.事業概要】

事業の目的	「安全で快適な通行空間の確保」、「都市景観の向上」、「都市災害の防止」、「地域活性化」を図る。	
事業の内容	市道(真砂町11丁目光明町3丁目線)の無電柱化整備及び修景整備	
事業の対象	何を	「安全、景観、防災」等に寄与する無電柱化整備及び道路修景整備
	誰に (対象者・対象者数)	道路利用者
	どのくらい (具体的 数値で)	道路整備延長 L=520m, 道路幅員 W=25.0m (両側歩道 W=6.0m, 車道 W=13.0m) (無電柱整備延長 L=1,000m)
平成30年度 (実施内容)	無電柱化整備 特殊部 N=5箇所	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		2,979	98	4,121	130
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	0	0	2,979	98	4,121	130

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
			10,449	7,692
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	委託		10,449	7,692
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		0	10,449	7,692

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	0	13,428	11,813

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	0	13,428	11,813

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者		道路利用者	道路利用者
受益者数			
受益者負担額(千円)		0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	無電柱化道路の延長	単位	m
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値		0	0
実績値		0	0

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	無電柱化率	単位	%
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値		0	0
実績値		0	0

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	道路利用者に対して、安全で快適な通行空間の確保をはじめ、都市景観の向上及び都市災害の防止等を図る事業である。 岐阜市が所管する道路であるため、市が主として管路の設置や道路の舗装を行う必要があり、電線管理者が管路の通線や電柱の撤去を行っている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	幹線道路の無電柱化整備は、安全で快適な通行空間の確保のほか、大規模地震などの災害発生時に電柱の倒壊による輸送路の分断等を回避し、迅速な災害復旧に資する事業である。 道路管理者である岐阜市が主体となり、電線管理者と共に実施すべき事業である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	無電柱化整備によって、道路上の電柱や電線類がなくなることにより、都市景観の向上、安全で快適な通行空間の確保及び都市災害の防止等を図ることができる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	岐阜市の都心拠点における整備であり、多数の道路利用者の利益に資する。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	安全で快適な通行空間の確保及び都市景観の向上、都市災害の防止等を図るため、引き続き事業を実施していく必要がある。

# 事業評価シート

番号 1840050 - 006

## 【1.基本情報】

事業名	街路灯のLED化				
担当部名	基盤整備部	担当課名	道路維持課		
未来地図政策	公共施設等の最適な管理・運営		政策コード	7 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成26年度～	令和3年度	根拠法令 関連計画※	道路照明灯修繕計画	

## 【2.事業概要】

事業の目的	道路利用者の夜間における道路交通の安全と事故防止を図るため、既存灯具に比べ、長寿命であるLED灯具への交換を進める。また、LED化による省電力化に伴い、電気代等の維持管理費及びCO2排出量の低減を図る。	
事業の内容	既存街路灯をLED灯具へ改良するとともに、新設においては、LED灯具を設置する。	
事業の対象	何を	LED街路灯
	誰に (対象者・対象者数)	道路利用者及び地域住民
	どのくらい (具体的数値で)	市が管理する街路灯全てのLED化(N=22, 881基)
平成30年度 (実施内容)	・既存水銀灯等からLED灯具へ改良 N=1, 291基 ・自治会連合会等からの地域要望に応じて新設 N=173基	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	7,904	260	8,242	260	8,242	260
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	286	65	299	65	299	65
計(A)	8,190	325	8,541	325	8,541	325

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		98,142	104,196	232,630
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	工事	98,142	104,196	232,630
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		98,142	104,196	232,630

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	106,332	112,737	241,171

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金	43,208	15,609	6,740
県支出金			
市債	32,500	67,400	192,300
使用料・手数料			
その他			
計(F)	75,708	83,009	199,040

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	30,624	29,728	42,131

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	道路利用者及び地域住民	道路利用者及び地域住民	道路利用者及び地域住民
受益者数			
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	街路灯設置・改良	単位	基
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	2,360	1,796	1,379
実績値	2,752	1,865	1,464

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	CO2排出量の低減	単位	t/年
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	166	152	1,140
実績値	191	163	1,212

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	道路利用者へ夜間の道路交通の安全と事故防止を図るには、街路灯は欠かすことができない施設である。また、水銀灯は令和2年に製造中止が決定しており、既存水銀灯のLED化は急務である。  岐阜市が所管する施設であるため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	LEDは水銀灯に比べ長寿命且つ省電力であるため、LED化により電球交換サイクルの延伸及び電気代等の維持管理費の低減を図ることができる。  公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	LED化による省電力化且つ電球交換サイクルの延伸によって、目標値より多くのCO2排出量の削減を図ることができた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	街路灯は、岐阜市全域に設置されており、受益者は道路利用者及び地域住民全般である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	道路利用者の夜間における道路交通の安全と事故防止を図るため、街路灯は欠かすことのできない施設である。また、水銀灯は令和2年に製造が中止となるため、LED化は急務であり、引き続き事業を実施していく必要がある。

# 事業評価シート

番号 1840050 - 007

## 【1.基本情報】

事業名	側溝整備				
担当部名	基盤整備部	担当課名	道路維持課		
未来地図政策	持続可能な都市基盤づくりの推進		政策コード	6 - 2 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成30年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

## 【2.事業概要】

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境の向上</li> <li>雨水の円滑な排水による内水対策</li> <li>適切な維持管理による道路管理瑕疵の抑制</li> </ul>	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>既設側溝の改良</li> <li>新設側溝の整備</li> </ul>	
事業の対象	何を	道路側溝
	誰に (対象者・対象者数)	道路利用者及び地域住民
	どのくらい (具体的 数値で)	適切な維持管理及び新設整備
平成30年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>既設側溝の改良 L=13,581m</li> <li>新設側溝の整備 L= 2,172m</li> </ul>	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	8,026	264	12,553	396	12,553	396
嘱託職員	1,346	132	0		0	
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>9,372</b>	<b>396</b>	<b>12,553</b>	<b>396</b>	<b>12,553</b>	<b>396</b>

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	工事	1,196,186	1,185,351	1,171,679
	委託料			6,912
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>1,196,186</b>	<b>1,185,351</b>	<b>1,178,591</b>

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	1,205,558	1,197,904	1,191,144

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金	189,964	176,579	112,820
県支出金			
市債	139,800	444,300	768,900
使用料・手数料			
その他			92,927
<b>計(F)</b>	<b>329,764</b>	<b>620,879</b>	<b>974,647</b>

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	875,794	577,025	216,497

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	道路利用者及び地域住民	道路利用者及び地域住民	道路利用者及び地域住民
受益者数			
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	側溝整備延長		単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			m
実績値	18,011	16,518	15,753

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	浸水被害の軽減		単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			
実績値			

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	道路利用者や地域住民に対し、生活環境の向上、雨水の円滑な排水による内水対策、道路管理瑕疵の抑制を図るには、側溝整備は欠かすことができない事業である。  岐阜市が所管する施設であるため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	側溝整備により、浸水被害の軽減が図られているが、既設側溝の老朽化が進んでおり、今後は更新などの対策をより一層重点的に行う必要があることから、事業費の増加が見込まれる。  公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	側溝の改良、新設によって、生活環境の向上、雨水の円滑な排水による内水対策、道路管理瑕疵の抑制を図ることができた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	側溝は岐阜市全域で整備されているが、側溝の新設など受益者である道路利用者及び地域住民が限定的な場合がある。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	側溝の改良、新設により、生活環境の向上及び雨水の円滑な排水による内水対策、道路管理瑕疵の抑制を図ることは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。